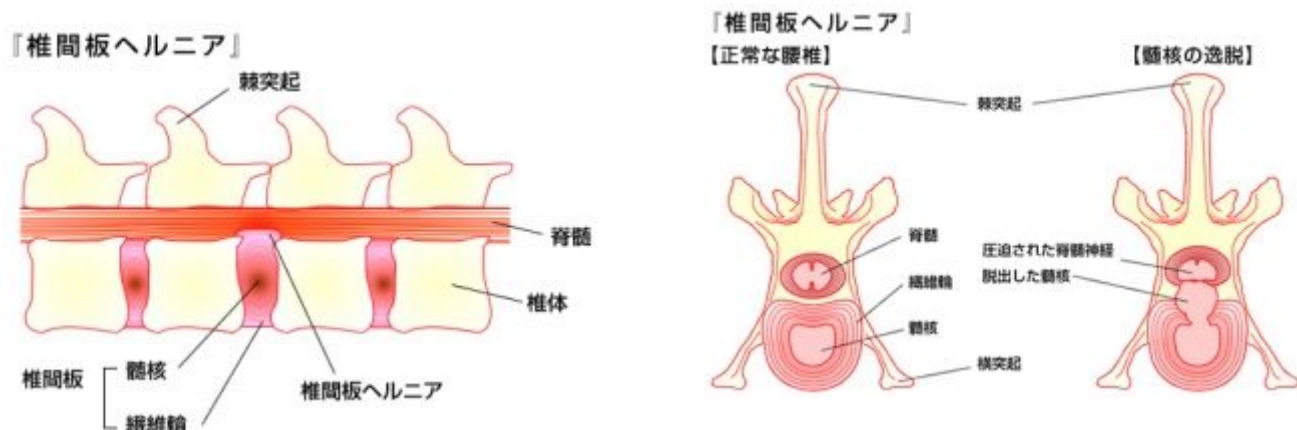


椎間板ヘルニア...名前だけは聞いたことがあるという方も多いかもしれません。最近ではX JAPANのYOSHIKIさんが頸椎（首）の椎間板ヘルニアの悪化で緊急手術を受けた事が大きな話題となりましたね。YOSHIKIさんの場合は首だったのですが、犬では背中から腰にかけて発症するパターンが全体の約8割を占めています。犬種ではダックスフントでの発生が際立って多いのですが、その他、ペキニーズ、ビーグル、パグなどにもみられます。

犬の椎間板ヘルニアとは、背骨の間に挟まっている椎間板と呼ばれるクッションが高齢や肥満、過度な負荷、遺伝的な素因などによってつぶれて飛び出し、脊髄神経を圧迫してしまう状態のことです。



模式図引用元: http://www.anicom-page.com/all_disease

どんな症状があるでしょう？

- ◆歩き方がおかしい・・・段差が登れない・後ろ足がふらつく・ターンするときに後ろ足がよろめく
- ◆痛み・・・動きたがらない・触ろうとすると嫌がる・抱っこしようとするとき「キャン」と鳴いたり、咬もうとする・ふるえが見られる
- ◆排尿障害・・・踏ん張れなくなって排尿姿勢が取れない・尿意を意識せずに失禁してしまう

- ◆麻痺・・・痛みを感じなくなり、麻痺で後ろ足を引きずったり、後ろ足が立たなくなる。

※特に自力でおしっこできなくなったり、麻痺があるヘルニアは重症度と緊急性が高いとされます。

👉わんちゃんの様子がおかしいなと少しでも感じたら、早めに獣医に相談しましょう！ヘルニアは進行するにつれて回復が難しい病気ですので、早期発見、早期治療が鉄則です！

どんな治療をするか？

ヘルニアの進行の程度によって薬で炎症や痛みを抑える内科的治療と脊髄神経を圧迫している椎間板物質を手術で取り除く方法があります。

何よりリハビリが大事！

☆治療と合わせてリハビリテーションを行うことで、脊髄神経や筋肉の機能回復を促し、治癒率が高くなると考えられています。

☆麻痺を起こした場合、あっという間に身体を支える筋肉は落ちてしまいます。その筋力を取り戻す方法として、水中トレッドミル（水の中のランニングマシーンで歩いたり、泳いだり）も有効です。

☆たとえ歩けなくなったとしてもリハビリを継続することで歩けるようになる可能性があります！わんちゃんが通常の日常生活を送れるようになります。



画像引用元： <http://www.medicalexpo.com>、 <https://ameblo.jp/momonococoro1871>

★当院でも椎間板ヘルニアの手術を受けたわんちゃんたちがリハビリを頑張っています！専門スタッフと獣医師が相談しながら、その子に合ったリハビリプログラムを組み立てていますので、安心して続けることができますよ！